5つのめざす社会

新しいことに挑戦できる社会

めざす姿④

みんなが学び続ける社会　子どもの個性を伸ばす教育が行われ　大人になってからも学び続けられる社会

めざす姿⑤

わきあがる挑戦　アイデアを形にする実践が無数に行われ　新しいチャレンジが次々と生まれる社会

めざす姿⑥

わきたつ文化　文化が暮らしの中心にあり　伝統と革新が織りなす多彩な表現活動が展開される社会

新しいことに挑戦できる社会

みんなが学び続ける社会

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

○「子どもの自ら学び考える力を伸ばす教育が行われているか」については、どの年代も６点台に留まっており、子どもが試行錯誤できる探求型の学びの充実など、さらなる向上が求められる。
○「目的を持って学んでいるものがあるか」については、10代・20代は6.57だが、その他の年代はいずれも５点台となっており、やや低い。
○「学びたいときに学び直すことのできる社会か」については、いずれの年代も４～５点台と低い傾向にある。

設問14

お住まいの地域では、子どもの自ら学び考える力を伸ばす教育が行われていると思いますか

全体平均 **6.13**

性別

男性	6.14
女性	6.16

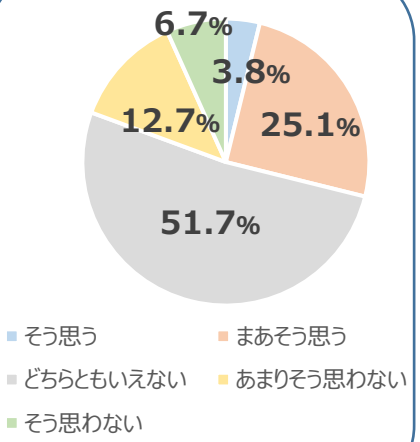
男女間の差はほとんどない

年齢別

80歳以上	6.22
70代	6.17
60代	6.04
50代	6.17
40代	6.17
30代	6.02
18～29歳	6.06

年代間の差は最大0.20とそれほどなく、全年代で６点台に留まっている

回答割合



地域別

地域による差は最大0.42と小さい。都市部や地方部の間に差はそれほどない

設問15

あなたには、目的を持って学んでいるものがありますか

全体平均 **5.74**

性別

男性	5.51
女性	5.88

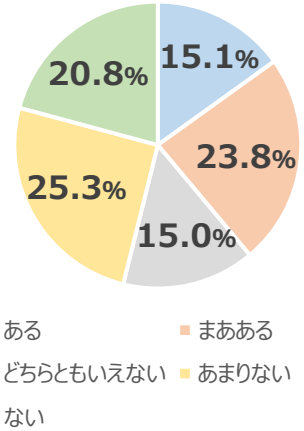
男女間の差は大きい

年齢別

80歳以上	5.36
70代	5.78
60代	5.60
50代	5.59
40代	5.82
30代	5.91
18～29歳	6.57

年代間の差は最大1.21とやや大きい。**10,20代が6.57と他の年代と比較すると高い**

回答割合



地域別

地域による差は最大0.65とやや小さいものの、神戸が**６点台とやや高い**

新しいことに挑戦できる社会

みんなが学び続ける社会

■兵庫のゆたかさ指標

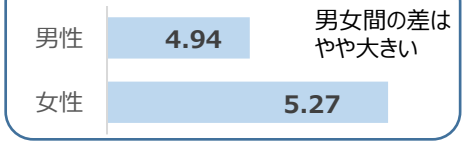
設問16

新たな知識や技能を身につけたり、専門性をみがくために、だれもが学びたいときに学び直すことのできる社会になっていると思いますか

全体平均

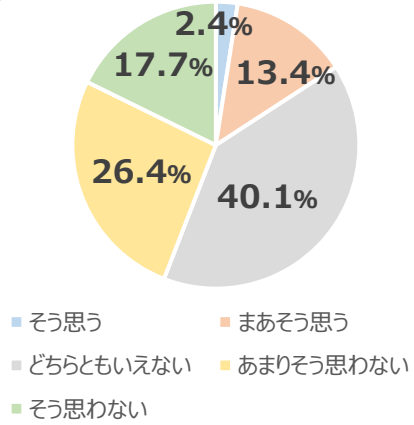
5.13

性別

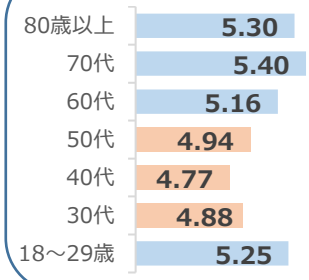


男女間の差はやや大きい

回答割合



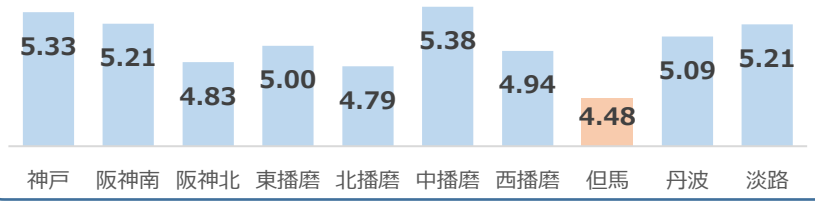
年齢別



現役世代が概ね4点台と低く、普及に課題がある

地域別

地域による差は最大0.90とやや小さいものの、**但馬が特に低い**



■主な県の取組

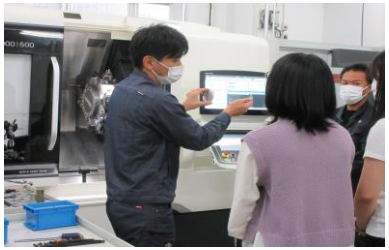
○　兵庫の未来を担う児童生徒が充実した学校生活を送ることができる環境整備として、授業や部活動で使用する用具・備品など、各校の状況・特色に応じた整備を集中的に実施（R5～R7年度３ヵ年で163校全校で実施）

○　県立学校施設の環境改善として、選択教室や体育館（避難所）の空調整備、発展的統合に伴う整備など、施設の環境改善を集中的に実施（R6整備件数：選択教室空調整備：108教室、体育館（避難所）空調整備：17校）

○　私立高等学校等への就学機会を確保するため、授業料軽減補助について多子加算を創設するなど支援内容を拡充

○　ものづくりの魅力や奥深さを伝え、ものづくりへの関心を高めるとともに、技能者の後継育成に繋げるため、中学生に加え新たに高校生を対象に、プロの技の実演と体験指導を行う体験学習を実施（R6参加者数：7,221名(うち高校生59名)R6時点）

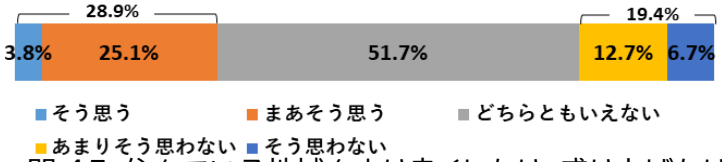
部活動等応援事業



ものづくり体験学習

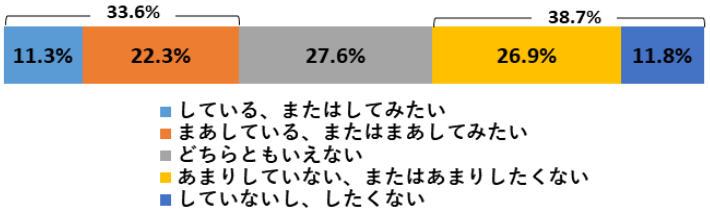
トピックス　学びやすい社会の実現

問14 お住まいの地域では、子どもの自ら学び考える力を伸ばす教育が行われていると思いますか



18～29 歳	6.06
30 代	6.02
40 代	6.17
50 代	6.17
60 代	6.04
70 代	6.17
80 歳以上	6.22

問 45 住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加しているか、参加したいか

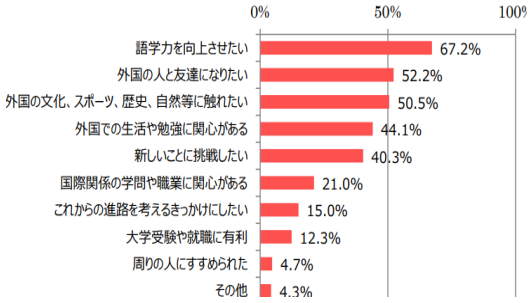


子どもの自ら学び考える力を伸ばす教育が行われているかについて、各年代の点数は 6 点台前半と、ほぼ中間点にとどまっています。

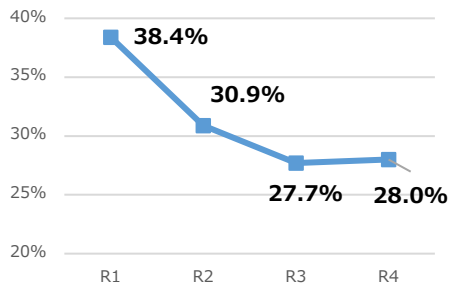
住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加しているか、参加したいかについて、否定的な回答は肯定的な回答を上回っています。

◆日本の高校生の海外留学の意向

日本の高校生が海外留学をしたいと考える理由は、「語学力を向上させたい」が最も多いものの、「外国の人と友達になりたい」、「外国の文化、スポーツ、歴史、自然等に触れたい」と過半数が考えるなど、多岐にわたります。



出典：文部科学省「高等学校等国際交流状況等調査」



出典：兵庫県教育委員会調べ

◆自発的に地域活動やボランティア活動に参加した生徒

自発的に地域活動やボランティア活動に参加した生徒の割合は、R1 に 4 割弱ほどであったが、R4 では 3 割弱になるなど減少傾向にあります。

次代を担う人材の育成

○ 県立高校ふるさと共創プロジェクト

地域資源の活用等の学び･発信を通じて、地域創生に貢献する人材育成を支援

＜取組例＞

区分	内容
①地域行事への参画	地域資源や地域行事の歴史を学習
②地域を支える人や企業の調査・分析	地域資源の生産･保全に携わる企業等を調査
③就業体験・事業提案、社会実装	地域活性化事業や商品を考え、企業とともに社会実装
④校内取組成果の発表	将来のふるさとについて、提言・提案

○ 高校生チャレンジ留学～HYOGO 高校生「海外武者修行」応援プロジェクト～

留学先で個々の学びを深めるために「チャレンジする高校生」に対して、官民連携での支援。令和 7 年度は支援人数を 10 人⇒20 人程度に拡充

教育環境の充実

○ 県立学校教育環境向上事業

教育のデジタル化による学習環境の変化等に対応するため、全県立学校への生徒個人用ロッカー等教育用具・備品の整備を集中実施

○ ひょうごの未来を担う高校生等の部活動等応援事業

学校への愛着を形成やシビックプライドの醸成につなげるため、生徒自らが使い道を決定した生徒ファースト予算による用具の購入等を集中的に実施

新しいことに挑戦できる社会

わきあがる挑戦

■兵庫のゆたかさ指標

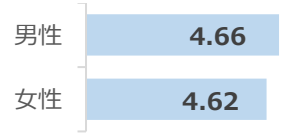
評価の概要

○「若者が希望を持てる社会か」については、先行きの不透明感もあり平均4.64と低く、30代以下の若い世代の評価が特に低い水準にある。
○「商売、事業を新たに始めやすい社会か」については平均4.95と低く、起業・創業に対する壁を感じていることがうかがえる。
○「ボランティアなどで社会のために活動しているか、してみたいか」については、どの地域でも５点台となっており、低い水準にある。

設問17
若者が希望を持てる社会だと思いますか

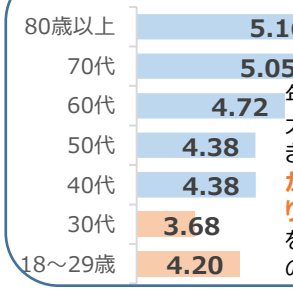
全体平均 **4.64**

性別



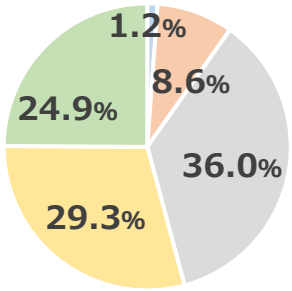
男女間の差はほとんどない

年齢別



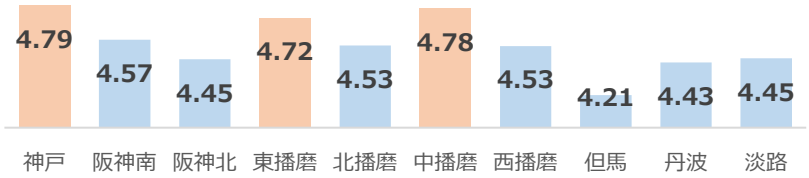
年代間の差は最大1.48とやや大きい。**若い世代が低い傾向にあり**、若者が希望を持てる社会への実感が薄い

回答割合



地域別

地域による差は最大0.58とやや小さい。**神戸、東播磨、中播磨**の点数が**他の地域と比較すると高い**



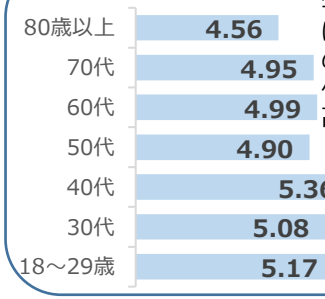
設問18
商売、事業を新たに始めやすい社会だと思いますか

全体平均 **4.95**

性別

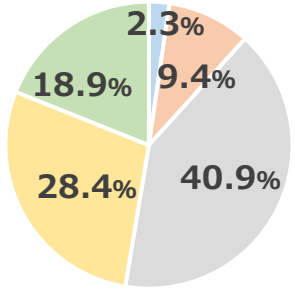
男女間の差はほとんどない

年齢別



年代間の差は小さいものの、若い世代は比較的高い傾向

回答割合



地域別

地域による差は最大0.87とやや小さい。ばらつきがあるが、傾向としては**都市部が高い**

新しいことに挑戦できる社会

わきあがる挑戦

■兵庫のゆたかさ指標

設問19
あなたは、ボランティアなどで社会のために活動していますか、またはしてみたいですか

全体平均
5.70

性別

男性	5.45
女性	5.86

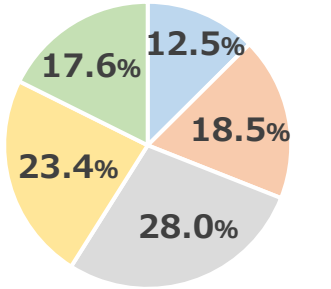
男女間の差はやや小さい

年齢別

80歳以上	5.07
70代	5.70
60代	5.97
50代	5.94
40代	5.95
30代	5.22
18～29歳	5.65

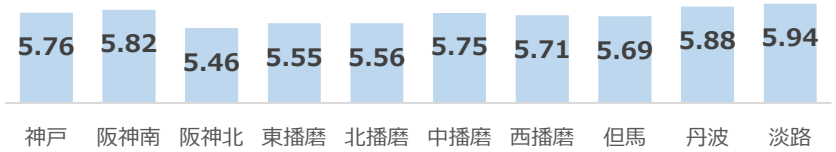
年代間の差は最大0.80と大きい

回答割合



地域別

地域による差は最大で0.48とほとんどなく、都市部と地方部といった違いは見られない



■主な県の取組

○　自ら課題を発見し、解決策を考える人材を育成するため、県内の中高生を対象に、アントレプレナーシップ教育プログラム「ひょうご起業ゼミ」を実施（R６:中高13校に導入）

○　オープンイノベーションの裾野拡大に向け、県内事業者に対して共創による地域課題解決に取り組む際の協業検討を支援（R6支援数：79件）

○　起業時のイニシャルコスト支援への若者枠の創設等により、若者や外国人留学生への起業支援策を展開（R6若者枠での支援件数：30件）

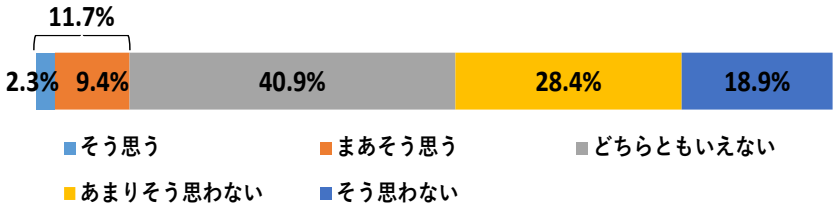
○　起業プラザひょうごで県内学生起業家向けに、６ヶ月間の学生会員向け無料お試し期間の設定や学生起業相談窓口の設置などさらなる優遇措置を導入

ひょうご起業ゼミ

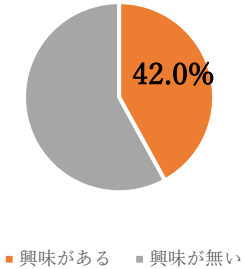
オープンイノベーションイベント

トピックス　スタートアップ支援の新展開

問 18 商売、事業を新たに始めやすい社会だと思いますか



【起業に興味がある学生の割合】



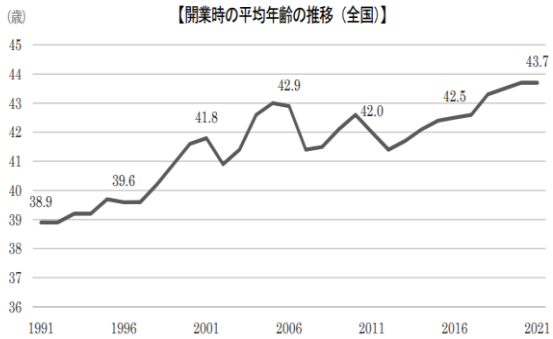
出典：ザシードキャピタル株式会社「起業に関するアンケート」

◆起業に興味がある学生

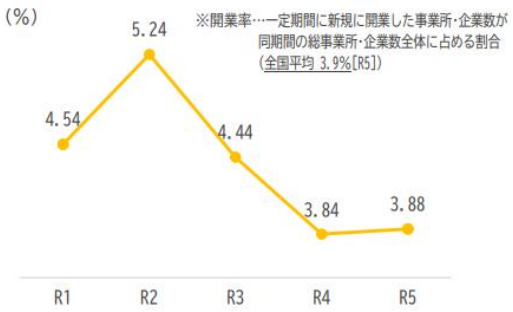
300 人の大学生を対象に行ったアンケートでは、40%以上の学生が起業することに興味があると回答しており、一定数の学生が起業に興味があることがわかります。

◆開業時の平均年齢の推移

開業時の平均年齢は上昇傾向にあります。1991 年と 2021 年の間の 30 年間で、開業時の平均年齢は 4.8 歳上昇しており、若い年齢の開業が減っていると考えられます。



出典：日本政策金融公庫・日本政策金融公庫総合研究所「新規開業実態調査」



出典：厚生労働省「雇用保険事業統計」を基に県新産業課が作成

◆県内の開業率

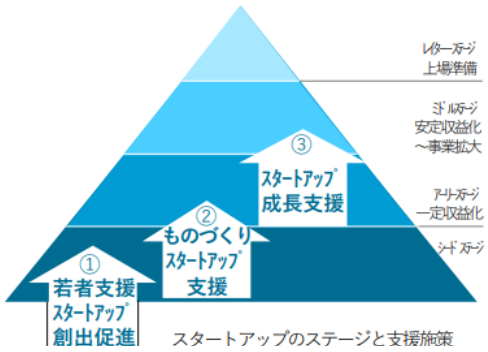
兵庫県内の開業率は R5 で回復したものの、R2 以降、減少傾向にあります。

R5 の開業率は 3.88%となっており、全国 13 位となっています。

段階に応じたスタートアップ支援

○ 若者支援（スタートアップ創出促進）

スタートアップが生まれ、成長しやすい環境を整備するため、起業意欲がある若者に対し、試行的な起業によるビジネスプランのブラッシュアップ機会を提供するとともに、スタートアップ起業時の経費を支援



<支援内容>

●トライアル起業チャレンジプログラム

事前講座：プラン試験実施に必要な内容の事前講座等を実施

プラン実証・メンタリング：１者ごとにメンターが対応し、各段階でフォローすることでプラン実証を支援

最終報告会：成果共有、支援機関との交流

●スタートアップチャレンジ支援補助金

社会課題の解決を目指し革新的なビジネス手法で経済成長を牽引する起業家を支援

○ ものづくりスタートアップ支援

”ものづくり”領域への参入障壁となっている試作品開発までを一貫支援

<支援内容>

基礎知識習得に向けた講座等の開催や、試作品開発への支援等

○ スタートアップ成長支援

スタートアップの自立的成長を促すため、県がスタートアップを認定して集中的な支援を実施

<支援内容>

成長プランの作成支援、展示会等の出展支援等

新しいことに挑戦できる社会

わきたつ文化

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

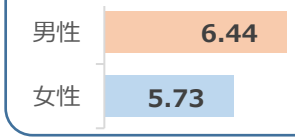
○「暮らしの中でスポーツ・スポーツ観戦を楽しむ」については、70代などの高齢世代が高い状況にある一方、30代以下の若い世代の評価が低い水準にある。
○「暮らしのなかで芸術文化を楽しむ」について、もっとも高い神戸が5.82、それに続く阪神南、阪神北と、スポーツ施設、文化施設等へのアクセスのしやすい地域が高くなっている。
○「伝統芸能・文化が受け継がれている地域か」については、神戸、阪神南、東播磨が５点台と、相対的に都市部で低い傾向がうかがえる。年代別には目立った違いは見られない。

設問20

あなたは、暮らしの中でスポーツをしたりスポーツ観戦を楽しんだりしていますか

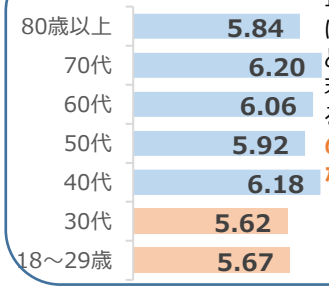
全体平均 **5.98**

性別



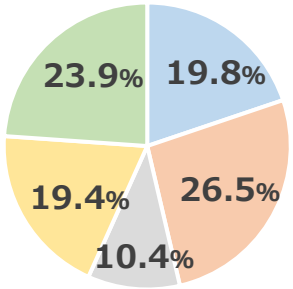
差は小さいが、女性と比べると**男性が高い**

年齢別



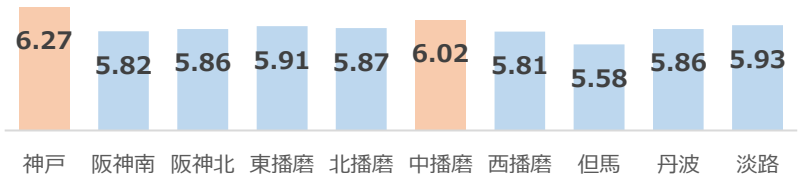
年代間の差は最大0.58とやや小さい。若い世代である**30代以下の点数が低くなっている**

回答割合



地域別

地域による差は小さいが、**神戸、中播磨地域の点数がやや高くなっている**

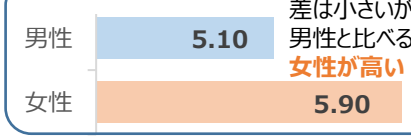


設問21

あなたは、暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていますか

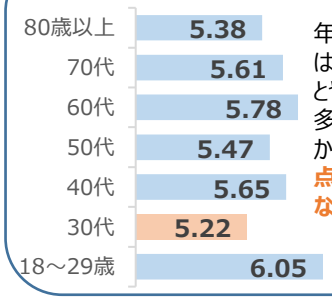
全体平均 **5.60**

性別



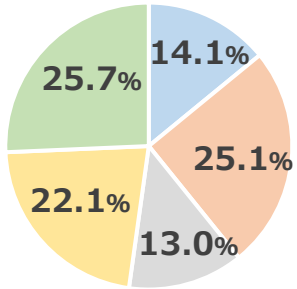
差は小さいが、男性と比べると**女性が高い**

年齢別



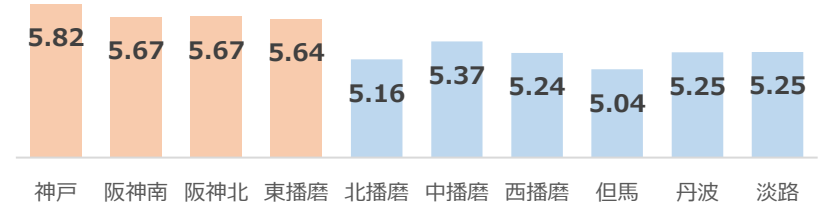
年代間の差は最大0.83とやや小さい。多忙のためか、**30代の点数が低くなっている**

回答割合



地域別

劇場・ホール等へのアクセスのしやすい**神戸、阪神南、阪神北、東播磨地域が最も高くなっている**



新しいことに挑戦できる社会

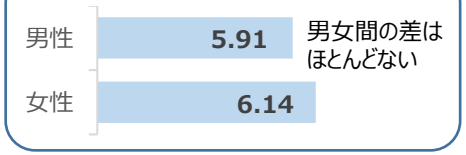
わきたつ文化

■兵庫のゆたかさ指標

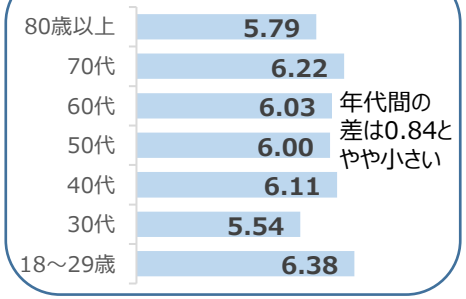
設問22
お住まいの地域では、伝統芸能・文化などが受け継がれていると思いますか

全体平均
6.02

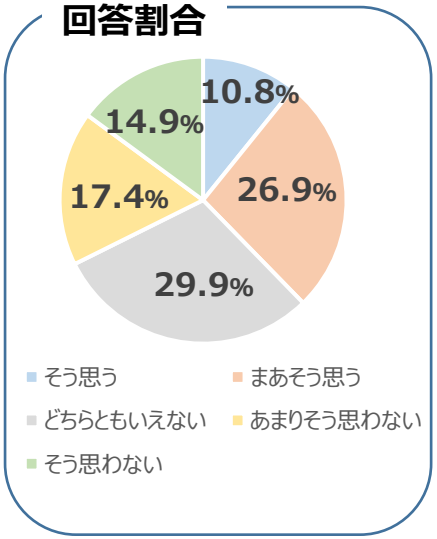
性別



年齢別

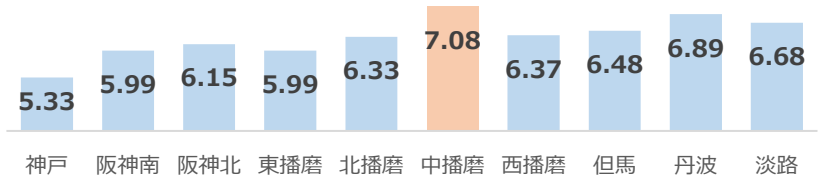


回答割合



地域別

地域による差は最大1.75と大きい。傾向としては地方部が高いが、**最も高い**のは「灘のけんか祭り」等の伝統のある**中播磨地域**となっている



■主な県の取組

○　芸術文化施設を無料開放する「ひょうごプレミアム芸術デー」を県内市町・民間へ拡大するとともに、障害のある方や子育て中の方等にも配慮し、誰もが楽しめる取組を実施（14県立施設、56市町立施設、19民間施設でR5.7開催）

○　ﾀｰｹﾞﾃｨﾝｸﾞ広告による「特別展」の広報やガイド専門家や陶磁器の専門家によるｶﾞｲﾄﾞｺﾝｼｪﾙｼﾞｭの育成などにより陶芸美術館の魅力を発信（R5育成者数：31名）

○　大学生等が施設の魅力向上・発信に資する取組を企画・提案する「HYOGOミュージアム魅力発信プロジェクト」を展開（R5：大学生等50人が参加）

○　スポーツの持つ多面的な価値を、兵庫県の活性化に最大限活用するため、スポーツ行政を教育委員会から知事部局に移管し、地域や企業、観光、福祉分野などと連携した総合的なスポーツ行政を推進

○　神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会の機運醸成や、パラスポーツ振興を推進(子どもとパラアスリートとの交流、子ども向けパラスポーツ体験会等の実施)

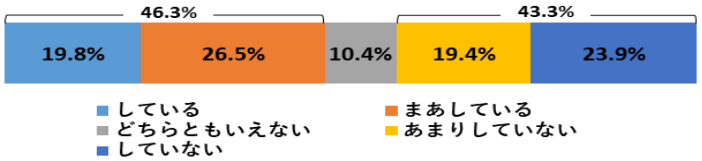
○　eスポーツに取り組む高校生の新たな活動目標や裾野拡大を目的に、「HYOGO高校生eスポーツ大会」を開催（R6.1.20～2.12　14チーム86名参加）

パラスポーツ体験会(パラスポーツ王国)

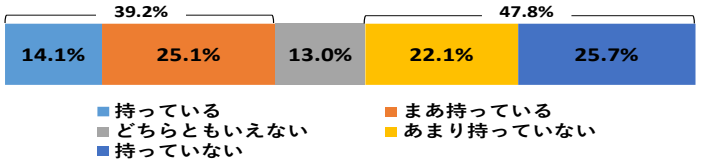
HYOGO 高校生 eスポーツ大会

トピックス　スポーツ・芸術文化

問20 あなたは、暮らしの中でスポーツをしたりスポーツ観戦を楽しんだりしていますか



問21 あなたは、暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていますか



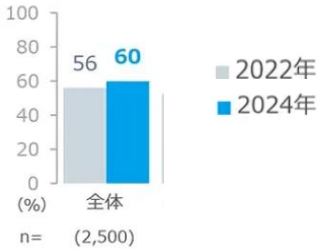
暮らしの中でスポーツ・スポーツ観戦を楽しむについては、「している」「まあしている」の回答が「あまりしていない」「していない」の回答を上回っているものの、暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っているかについては、「あまり持っていない」「持っていない」の回答が「まあ持っている」「持っている」を上回っている。

◆スポーツ観戦経験の有無

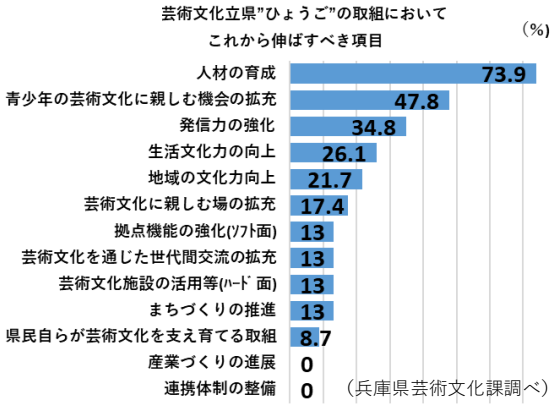
最近１～２年間のスポーツ観戦をした経験がある割合は 60%と２年前と比較すると、やや増加しています。

オリンピックや WBC、W 杯等、日本代表が活躍する国際大会が続いたため、スポーツに注目が集まったと考えられます。

【最近1～2年間のスポーツ観戦をした経験がある割合】



出典：株式会社クロス・マーケティング
スポーツに関する調査(2024 年)観戦編



（兵庫県芸術文化課調べ）

◆本物の芸術文化に親しむ

核家族化が進み、地域の繋がりが希薄になる中、学校以外の場所において、世代を越えて伝統文化や文化的行事に親しむ機会は減少しています。

青少年に対し、地域の伝統文化や伝統芸能の魅力に触れてもらうとともに、世代間交流を図り、次代の担い手として育成を進めることが重要です。

スポーツ・芸術文化の振興

○ HYOGO スポーツコミッション（仮称）設立準備

官民連携のもとスポーツを通じた地域活性化を促進する「スポーツコミッション」の設立を目指し、あり方を検討

R7：関係団体や有識者、先進自治体などからヒアリングを行うとともに、設立準備会議を開催し、組織体制や活動方針の検討
R8：スポーツコミッションの設立(予定)

○ プロスポーツクラブ等と連携した地域活性化プロジェクト

県内プロスポーツクラブ等と連携し、ふるさとひょうご寄附金を活用した試合観戦招待やスポーツ教室の開催などの取組を推進

○ 芸術文化センター開館 20 周年記念公演の実施

開館以来大きな人気を集めている佐渡裕芸術監督プロデュースオペラなど、開館 20 周年を彩る特別な記念公演を実施

○ ひょうごプレミアム芸術デー（無料開放・無料イベント等）の実施

県民誰もが芸術文化に親しむ機会を提供するため、市町・民間事業者等とも連携し、無料開放や特別イベント、子育て世帯に配慮した取組等を実施

5つのめざす社会

誰も取り残されない社会

めざす姿⑦

みんなが生きやすい地域　年齢、性別、障害の有無、国籍などに関わりなく　一人ひとりの個性が大切にされる社会

めざす姿⑧

安心して子育てできる社会　地域に見守られながら安心して子育てができ　多様な家族の形を受け入れる社会

めざす姿⑨

安心して長生きできる社会　充実した医療・福祉サービスを受けられ　何歳まで生きても安心な社会

誰も取り残されない社会

みんなが生きやすい地域

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

○「孤立しがちな人を生まないように気にかけ合う社会か」についてはどの地域も４～５点台と低い。
○「ハラスメントの予防・解決に向けた取組が社会全体として進んでいるか」については、平均5.17とやや低めであり、地方部でやや低い傾向にある。
○「年齢・性別・障害の有無などに関わりなく暮らしやすい環境が整っているか」については、平均6.13と比較的高い水準にあり、都市部で高い傾向にある。

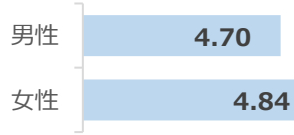
設問23

孤立しがちな人を生まないように気にかけあう社会であると感じますか

全体平均

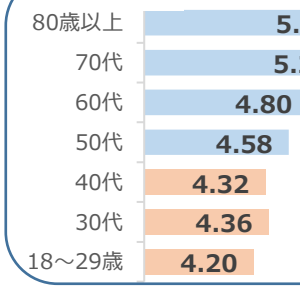
4.77

性別



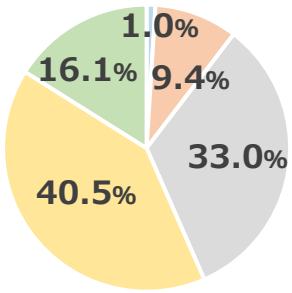
男女間の差はほとんどない

年齢別



年代間の差は最大1.04とやや大きく、**若い世代ほど低い**傾向にある

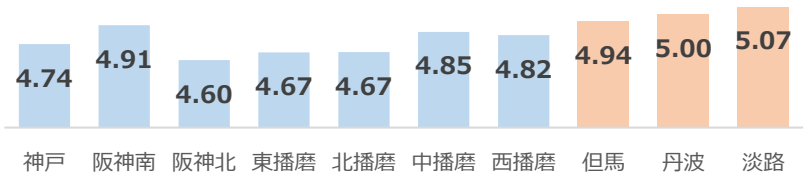
回答割合



感じる　まあ感じる　どちらともいえない　あまり感じない　感じない

地域別

地域による差はほとんどないが、**地方部がやや高い傾向にある**



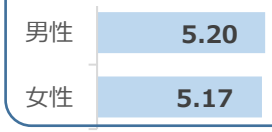
設問24

ハラスメントの予防・解決に向けた取組が社会全体として進んでいると思いますか

全体平均

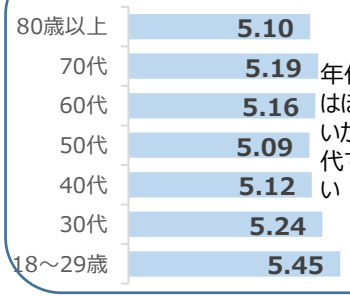
5.17

性別



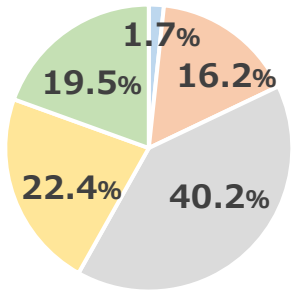
男女間の差はほとんどない

年齢別



年代間の差はほとんどないが、10,20代でやや高い

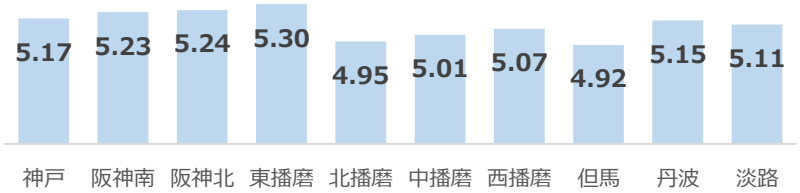
回答割合



そう思う　まあそう思う　どちらともいえない　あまりそう思わない　そう思わない

地域別

地域による差はほとんどないが、地方部がやや低い傾向にある



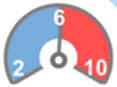
誰も取り残されない社会

みんなが生きやすい地域

■兵庫のゆたかさ指標

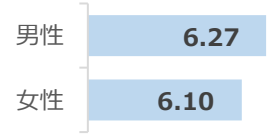
設問25
お住まいの地域には、年齢、性別、障害の有無などに関わりなく、暮らしやすい環境が整っていると思いますか

全体平均



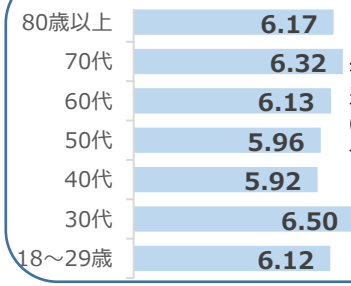
6.13

性別



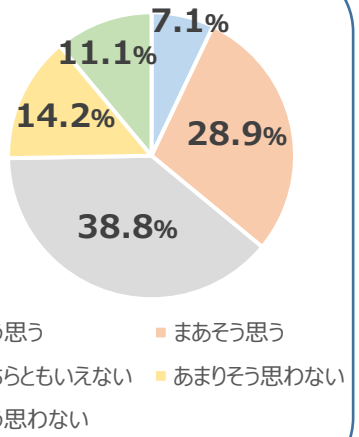
男女間の差はほとんどない

年齢別



年代間の差は最大0.58とやや小さい

回答割合



地域別

地域による差は最大1.07とやや大きい中で、傾向としては**都市部が高い**

■主な県の取組

○　ケアリーバー(施設退所者等)支援体制構築のため、関係機関との調整や施設間及びこども家庭センター職員の相互交流の場を開設

○　インターネット上の誹謗中傷等に関する専門相談や性的マイノリティに関する相談・交流会を実施（R7.2.28時点:ネットによる人権侵害等の弁護士相談件数47件、LGBT相談件数77件、交流会2回実施）

○　「親なきあと」を見据えて、在宅障害者と保護者に対し、グループホーム等地域での生活への理解を促すため、具体的な姿を説明・提案する説明会を開催（R6説明会参加者数：341人）

○　女性を中心とした、働き盛り世代の自殺対策として、企業内で悩みを抱える人に声かけ等を行うゲートキーパーを養成する研修会を開催するとともに、相談窓口等を紹介するパンフレットを作成（R6研修会参加者数：2,237人）

○　全国初のユニバーサルツーリズム推進条例に基づき、人材育成等による受入体制の強化や、モニターツアー等による情報発信・機運醸成等に取り組むとともに、地域を挙げてユニバーサルツーリズムに取り組む観光地をモデル的に支援（R6モデル地区数：３地区）

「親なきあと」説明会

ユニバーサルツーリズムモニターツアー

誰も取り残されない社会

安心して子育てできる社会

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

○「子育てとの両立がしやすい労働環境が整っているか」については、子育て世代を含めたすべての年代、すべての地域で４～５点台にとどまっており、育児サポート制度の充実、多様な働き方の導入などを一層推進していく必要がある。

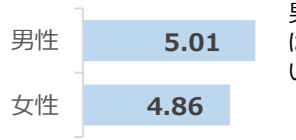
○「地域で子どもを守り育てる環境があるか」「安心して楽しく子育てができる地域か」についてはすべての年代・地域で６点を超えており、子育て中の親子の居場所づくりや相談支援、不登校対策など、地域で子どもを育てる環境づくりが浸透しつつあることがうかがえる。

設問26

子育てとの両立がしやすい労働環境が整っている社会だと思いますか

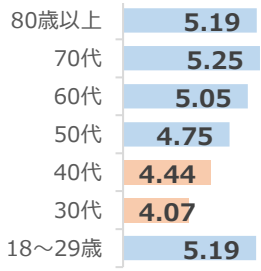
全体平均 **4.91**

性別



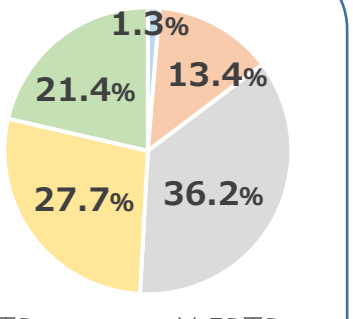
男女間の差はほとんどない

年齢別



年代間の差は最大1.18とやや大きい。**子育て世代である30代と40代が低く**、子育てと両立しやすい実感が乏しい

回答割合



地域別

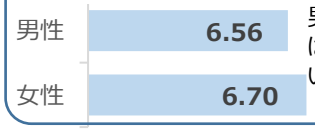
地域による差は最大0.59とやや小さい中で、東播磨と淡路が比較的高い

設問27

お住まいの地域には、地域で子どもを見守り育てる環境がありますか

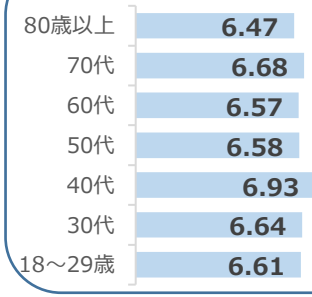
全体平均 **6.63**

性別



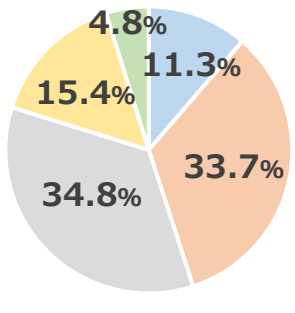
男女間の差はほとんどない

年齢別



年代間の差は0.46とほとんどない

回答割合



地域別

地域による差は最大0.81とやや小さい中で、**東播磨のみ７点台と高い**

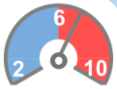
誰も取り残されない社会

安心して子育てできる社会

■兵庫のゆたかさ指標

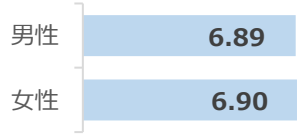
設問28
お住まいの地域では、安心して楽しく子育てできると思いますか

全体平均



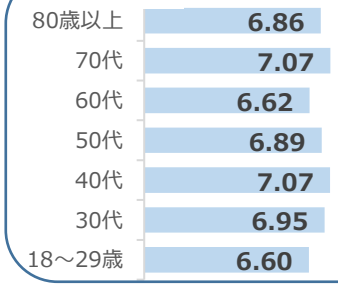
6.88

性別



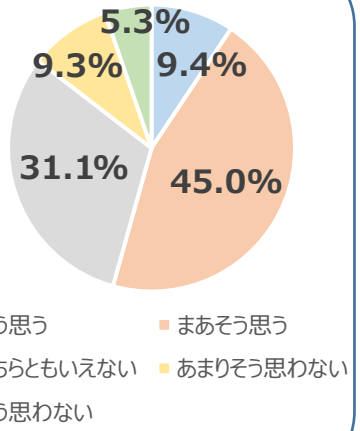
男女間の差はほとんどない

年齢別



世代間の差は最大0.47とほとんどない

回答割合



地域別

地域による差は最大0.67とやや小さく、**東播磨地域のみ７点台と高い**

■主な県の取組

○　不妊治療にかかる経済的負担を軽減するため、先進医療費助成（R6:3,095件）及び通院交通費助成事業（R6:989件）を実施。また、若者が早くから健康や生殖について知るため、プレコンセプションケア講師派遣事業を開始し（R6:44校）、プレコンセプションケアの内容を包括した専用サイトを開設（R6.12）

○　不登校児童生徒の増加を踏まえ「ひょうご不登校対策プロジェクト」を立ち上げ、学校・家庭・地域の連携強化や支援施設間のネットワークづくり等を推進

○　青少年の安全安心なインターネットの利用のため、子どもと親世代を対象に、「スマホ等の利用に関するガイドライン」の周知や「親子でスマホの使い方を考えるワークシート」の配布（R6配布数：約55,000枚）を通じた啓発を実施

○　親子の関係性や子どもとの関わり方等を学ぶためのペアレントトレーニングについて、トレーニング教材の制作などにより普及に努めることで子育て･親育ちを支援

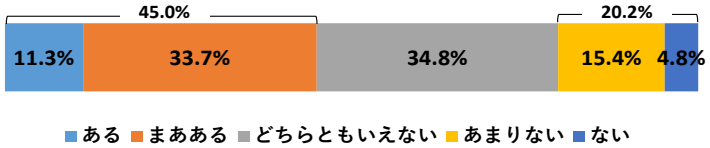
○　公民連携により里親・特別養子縁組制度を推進するため、里親支援センターの開設準備や民間委託モデル事業等を実施

不妊治療応援サイト
PRポスター

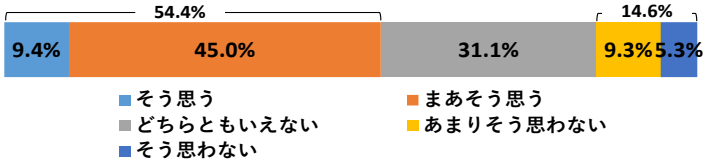
不登校相談会

トピックス　妊産婦支援の強化

問 27 お住まいの地域には、子どもを見守り育てる環境がありますか



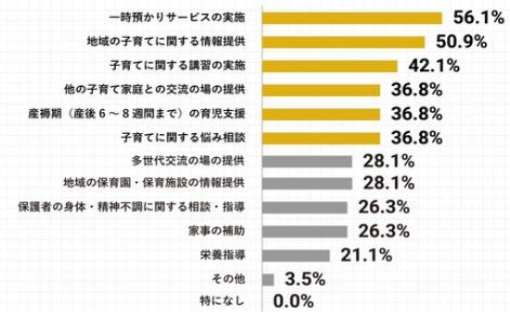
問 28 お住まいの地域では、安心して楽しく子育てできると思いますか



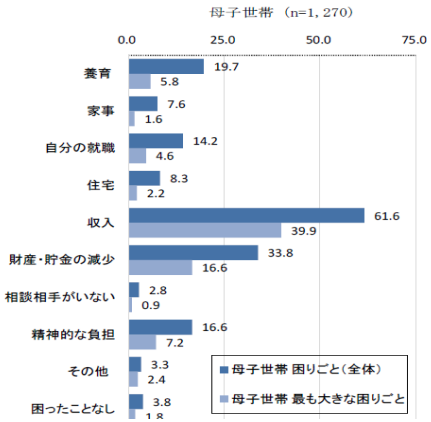
住んでいる地域には子どもを見守り育てる環境があるか、安心して楽しく子育てできるかについて、どちらの設問も肯定的な回答が否定的な回答を大きく上回っています。

◆産後、自治体にどのようなサポート内容を求めるか

子育てに関する講習の実施、産褥期の育児支援、子育てに関する悩み相談について、４割程度の方々が自治体のサポートを希望しています。



出典：株式会社明日香「出産後の体調に関するアンケート」



県児童家庭課　「ひとり親家庭実態調査報告書」

◆ひとり親世帯の困りごと

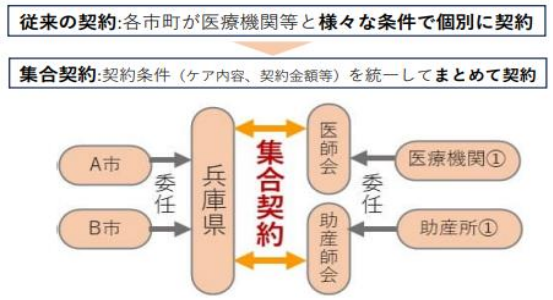
ひとり親世帯（母子世帯）の最も大きな困りごととして収入面を挙げる回答は 39.9%と、最も多い割合の回答となりました。

次いで、財産・貯金の減少を挙げる回答が 16.6%を占めています。

産後ケアの充実

○ 産後ケア事業

産後の母子に対して専門職による心身のケアや育児の指導及び相談等を行う産後ケア事業（市町が実施）について、県負担の導入を契機として、集合契約を開始することで、市町域を跨いだ利用が可能になるなど、広域的な利用を促進



特定妊産婦等への支援

○ 居場所確保・自立への支援

住む場所がない妊産婦が安心して過ごせる受入場所を確保し、自立に向け、県営住宅・民間住宅をステップハウスとして見守り支援

○ 産前産後の母子支援

乳児院等の専門的知見を活かし、事業実施の地域偏在を解消するため、産前産後の心理的ケアや保健指導、生活相談、養育支援を行う施設数の拡充(1 施設→ 2 施設)

○ 課題を抱える妊産婦支援プロジェクトの拡充

産後の母子の自立に向けた収入基盤の確保・就労ニーズに広く対応するため、出産準備・資格取得支援などに加え、新生児の必需品購入や就職支度の支援を拡充

誰も取り残されない社会

安心して長生きできる社会

評価の概要

○「心身ともに健康か」については、80歳以上の点数が他の年代よりも低くなっている。
○「安心できる医療の環境が整っているか」「高齢になっても安心して暮らし続けられる地域か」については、いずれも医療機関や福祉サービス事業所が数多く立地する都市部の点数が高くなっている。

■兵庫のゆたかさ指標

設問29
あなたは、心身ともに健康であると感じますか

全体平均 **6.63**

性別

男性	6.55
女性	6.69

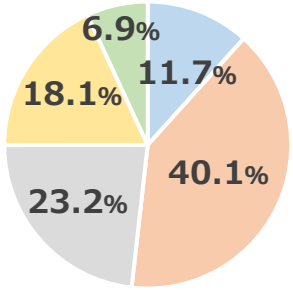
男女間の差はほとんどない

年齢別

80歳以上	6.05
70代	6.58
60代	6.58
50代	6.82
40代	6.87
30代	7.02
18～29歳	6.63

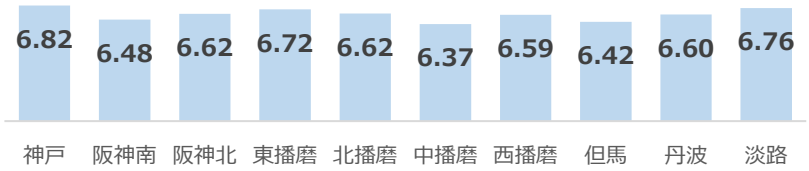
年代間の差は最大0.97とやや大きく、**80代が最も低い**

回答割合



地域別

地域による差は最大0.45とほとんどなく、都市部と地方部といった違いはみられない



設問30
お住まいの地域には、安心できる医療の環境が整っていると思いますか

全体平均 **6.84**

性別

男性	6.90
女性	6.84

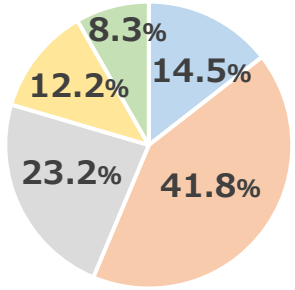
男女間の差はほとんどない

年齢別

80歳以上	7.08
70代	7.22
60代	6.72
50代	6.44
40代	6.69
30代	6.92
18～29歳	6.85

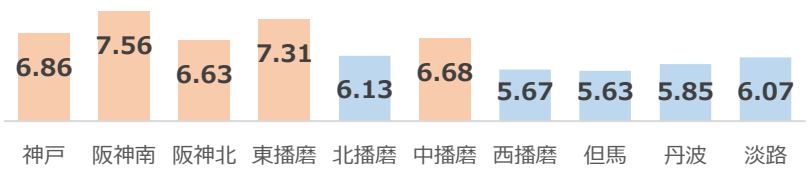
年代間の差は最大0.78とやや大きい。**70歳以上が７点台と高く、**高齢になっても安心して医療が受けられる実感がある

回答割合



地域別

地域による差は最大1.93と大きい。傾向としては、より多くの医療機関にアクセスのしやすい**都市部が高い**



誰も取り残されない社会

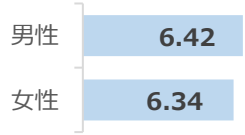
安心して長生きできる社会

■兵庫のゆたかさ指標

設問31
お住まいの地域は、高齢になっても安心して暮らし続けられる地域だと思いますか

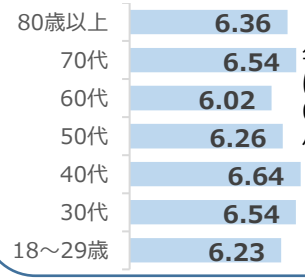
全体平均
6.36

性別



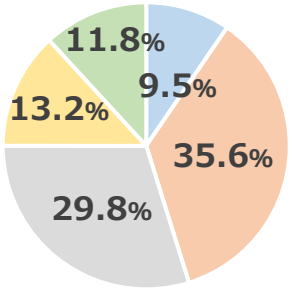
男女間の差はほとんどない

年齢別



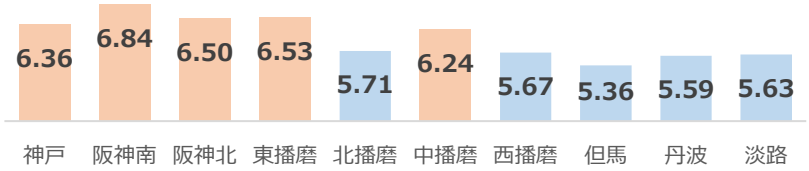
年代間の差は最大で0.62とやや小さい

回答割合



地域別

地域による差は最大1.48とやや大きい。傾向としては、公共交通機関等の利便性の高い**都市部が高い**



■主な県の取組

○　新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、次の新興感染症に備えるため、「兵庫県感染症予防計画」を改定し（R6.3）、新興感染症発生・まん延時の医療提供体制に係る数値目標等を設定

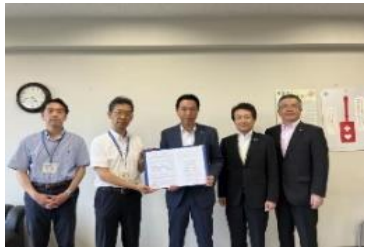
○　安心して妊娠・出産できる体制の検討を進めるため、産科医療体制に関する研究会を設置（R5開催回数：２回）

○　高齢化の進展に伴い運動器･呼吸器に複数疾患をもつマルチモビディティ患者が増加していることを踏まえ、リハビリを担う専門職を養成（R5養成人数：80人）

○　安定的・継続的に医療を提供するため、県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編による新病院（兵庫県立西宮総合医療センター（仮称））の整備を開始

○　一人暮らし高齢者の見守り活動や緊急事態への早期対応のため、各家庭を訪問し異変を発見する可能性のあるライフライン企業等民間事業者と見守りに関する協定を締結し、市町が取り組む見守り事業を支援（協定締結企業数：52（R7.3.31時点））

県立西宮総合医療センター（仮称）
完成イメージ図



地域見守りネットワーク
応援協定　締結式